

令和2年6月1日

公認マウンテンバイク大会主催各位

緊急事態宣言解除後の大会開催に向けた目安について

平素より本連盟の事業に対し、格別なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、緊急事態宣言が解除され、大会の開催も検討されていますが、大会開催にあたっては、開催地の自治体や関係機関、団体の理解を得ながら、参加者の安全と感染拡大の再発防止対策を行うことが不可欠であります。そこで、スポーツ庁・日本スポーツ協会が公表した「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に基づき、マウンテンバイク全国大会についての目安を提案することといたしました。

●開催可否について:

「当該スポーツイベントが開催される都道府県の方針に従うことが大前提であり、判断に迷われた際は、開催地や施設が所在する都道府県のスポーツ主管課や衛生部局等への御相談をお願いします。緊急事態宣言の対象区域外の都道府県においても、当面の間、全国的かつ大規模なスポーツイベントの開催については、感染リスクへの対応が整わない場合は中止又は延期するよう、都道府県知事からの要請等に基づき、慎重な対応をとることが必要です。」

日本スポーツ協会ガイドラインより

- = 開催にあたって優先すべきは参加者、大会スタッフ、関係者、観客、全ての安全です。
- = 社会的リスク:開催にあたっての物品、人的移動などによる各リスク評価。
- = 従来の安全管理とともに、追加で要求される感染症拡大予防についての物的、人的準備。
- = 安全な実施に関わり財政的考慮もされる必要があります。物的、人的資源他の追加予算。また、一方で参加者、後援の減少があることも予想されます。
- = これらの評価をするとき、開催地域、都道府県での現状を把握することも重要です。これは一時的ではなく継続して行う必要があり、日々の最新情報を提供する多くの機関の情報をチェックしてください。
- = 通常の大会においては、地域と連携し、計画段階からいくつかの機関の許可を得ることなども要求されますが、もしまだそのような関係にない場合でも、今回は特に開催地の都道府県のスポーツ主管課や衛生部局等の機関との連携・協議をすることが重要になります。

Coupe du Japonは大規模ということはありませんが全国大会であり、すべての大会がこれにあたると思われる(全国各地から参加可能なオープン大会です)については開催に先立って都道府県の所管とのご相談をお願いいたします。また、スケジュールの変更のご連絡に関しましては最低1ヶ月前にお願いいたします。

●開催の場合に:

- (1)スポーツイベントの参加募集時の対応
 - ・参加募集に際し、感染拡大の防止のために参加者が遵守すべき事項を明示して、遵守していただけることを前提に参加するようお願いしてください。
- (2)受付等の留意事項
 - ・受付などのブースやスタッフが滞在する場所では間隔を保てるレイアウトをしてください。各所に消毒液を配置してください。
 - ・スタッフはマスクを着用してください。持参しなかった人の為の予備を準備しておいてください。
 - ・受付の際には、参加者にもマスク着用を要請し、受付待ちの列では間隔を空けるようにするなど、密になることへの防止策を講じてください。受付人数によっては、ゼッケン番号やカテゴリーなどによって受付時間を分ける、あるいは順番に名前を呼び出すなどの方法も検討してください。
- (3)スポーツイベント参加者への対応
 - ・体調の悪い参加者・スタッフ・関係者は来場しないように要請してください。
- (4)スポーツイベントの主催者が準備等すべき事項
 - ・スタッフの滞在する場所は十分に広く確保してください。

- (5)参加者が運動・スポーツを行う際の留意点 距離の確保
- ・参加者数に合わせて、参加者がテントを張ったりウォーミングアップをしたりする場所などを十分に確保してください。
 - ・参加者のテントや準備エリアにいる人数に応じて十分に広く確保するように要請してください。
- (6)その他の留意事項
- ・万が一感染が発生した場合に備え、参加者より提出を求めたデータを保存しておいてください。
 - = 募集告知などのウェブサイトを使って急な連絡に対応できるようにしてください。
 - = 例:参加費払戻方針・延期/中止の場合の流れ・レジストレーション・健康チェックリストなど
 - = ソーシャルメディアまたはウェブサイトを使用したスタートリスト、リザルト提供を行い、掲示板に集まることを避けてください。トーナメント形式の場合には PA の使用。
 - = 結果の疑義については電話やメールを利用してください。
 - = アワード・セレモニーにおいて密が避けられない状況ではメダルを事後送付することも検討してください。
 - = 会場の状況によって密が避けられない場合は、参加者および関係者のみに来場制限や、参加競技者あたりの観客数の制限するなどしてください。
 - = ボランティアスタッフ等の保護。事前の人員計画により、活動中の感染機会も減少させる工夫が出来る可能性があります。
 - = 大会中に体温上昇、病気兆候があるときには、大会の医療チームとあわせて、地域の保健所と相談するなどの対応をしてください。
 - = 可能であれば、参加者とスタッフ系の化粧室を分けることも有効です。
 - = ダウンヒルにおいてはスタートの順番を待つ間、ヒルトップへの移動ゴンドラ、車両などで混雑することがあります。マスクを着用した上で、密にならないように分ける運用、換気をお願いします。
 - = スタートでは、間隔を開けた待機、また移動に関しては人数制限をして、可能な限り間隔を確保してください。
 - = フィニッシュ後は、エリアで密集せずに間隔を開けることを要請します。
 - = クロスカントリー・オリムピックでは、スタート前により危険性が高まります。そこで、レイアウトについては再考いただいて、より間隔の広いステージングエリア、スタートラインやスタートグリッドも広めにしてください。フィニッシャー、または 80%のプルダアウトライダーは、とどまることなく散開するようにします。
 - = クロスカントリー・フィードゾーン:水分補給所はレイアウトを検討して密にならない長いもの、または、後方に広いエリアを設定してください。
 - = コミッセルとの協議で、いくつかのクラスでは競技時間を短めに設定することでライダー自身が持参することを要求し、フィードを行わないことも検討してください。
 - = チームでの補給の際も消毒や手袋、長袖などにより危険を軽減できます。ボランティアの場合には、手渡し自体の中止で、各自テーブルより受け取るセルフサービスの形態も考えられます。使用済みのボトルについては、直接の接触をさけて回収することも検討してください。
 - = メディカル:従来よりも医療関係計画を立てることは重要になります。地元の病院にコンタクトして、開催期間に外傷患者を取り扱う能力があることを確認してください。また、会場でのメディカルチームには、彼らの活動を妨げない、または感染に及ばないような準備が必要です。

本ガイドラインは連盟でも告知掲載したいと考えておりますが、開催の準備、募集、当日のご対応についてもご留意のほどよろしくお願いたします。新型コロナウイルス感染症との対応状況は日々刻々と変化しており、先の見通せない状況に各々大きな負担を強いられているところかと拝察いたします。皆さまにおかれましては政府、自治体、公的機関の決定や要請、指示に従って行動していただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

ガイドラインリンク先:日本スポーツ協会

<https://www.japan-sports.or.jp/news/tabid92.html?itemid=4158>

参考資料:USA Cycling : RETURNING TO RIDING & RACING 5/17/2020

協力:一般社団法人 MTB リーグ

公益財団法人日本自転車競技連盟
マウンテンバイク委員会